船田町会だより

NO. 238 令和6年 3月 9日 発行責任者 平塚 忠勇

「自分たちのまちは自分たちの手で」役員交代を控えて

令和5年度もあと1ヶ月で終了しようとしています。町会は毎年4月29日(祝)に定期総会を開催していますが、ことしは役員改選の年になります。すでに役員選考委員会を発足させ、町会三役の選考作業を進めています。同時に、各区の区長、理事、組長についても3月31日までに報告することをお願いしています。各区の選出作業につ

いてはそれぞれの区の実情に合わせて自主的に選出していただいていますが、ごく一部で「役員になりたくない」という意思表示があり大変困っているという話も聞きます。ご存じのとおり町会は、住民の皆さんが協力して地域の安全・安心に取り組むとともに、住民の親睦を図り、住みよいまちづくりを築いていくための自主的な組織です。つまり、「自分たちのまちを自分たちの手でよりよいまちにしていく」というもので役員の任務、役割は極めて重要です。「役員になりたくない」という人が増えたら町会組織は維持できません。60年を超える船田町会の歴史も多くの人たちの支援と協力が不可欠でした。来年度を含め、今後の役員交代で各区の順番に当たる方はこのような認識のもとに、ぜひご協力をお願いいたします。



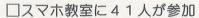
150人以上が参加して5年ぶりの餅つき大会

コロナ禍で中断していた子ども育成会の歓送迎会と餅つき大会がひなまつりの3月3日、船田会館で5年ぶりに再開されました。この日は朝から暖かく絶好の天気に恵まれました。歓送迎会には今年小学校に入学する児童と卒業して中学に入学する児童72名が参加しました。その後、子ども会役員が準備し、町会役員や消防団、父兄の皆さんが協力した餅つき大会に参加しました。杵を使って初めての体験とつきたてのおいしい餅を沢山食べて楽しみました。また、船田友愛会の高齢者の皆さんも招待し、全体で150人以上が参加して盛会でした。なお、日を4年以上も使用しなかったためにカビが生えるなど難題が持ち上がりましたが、会館近くのおおぞら工房で修理していただき、大変助かりました。



町会短針

□お悔やみを申し上げます 4区 丹部 俊夫様(享年83歳) 3月1日ご逝去



町会は高齢者向けのスマホ教室を2月17日(土)、3月2日(土)に船田会館で開催し延べ41人が参加しました。今回の講座の内容はスマホのマップ・LINE体験。指導していだいたのがソフトバンクの3人のアドバイザー、無償で協力して戴きました。町会は4月以降も定例的に開催する方向で取り組みます。

□人形塚公園のトイレ改築工事

公園利用者など多くの人たちから人形塚公園のトイレの水洗化が要望されていましたが、この度、東京都西部住宅建設事務所が改築工事に取りかかることを決定し、2月29日から工事着工を行いました。工事内容は公園入口側にトイレ新設、滑り台・砂場を東側に移転、インターロッキング新設と一部歩道の切り下げという内容です。工事期間は6月29日までとなっています。

□カラオケ機器新規交換募金は216,000円

前号で募金の集計は209,000円と報告しましたが、その後、10区の加藤晴夫さんから2,000円、7区の高坂亜輝子さんから5,000円の届け出があり、216,000円となりました。

□春の全国交通安全運動は4月6日(土)~15日(月)

運動期間中の4月10日(水)が「交通事故ゼロを目指す日」となっています。子供を中心に、歩行者の安全確保が重要なテーマとなっています。町会では無事故を目指し交通安全部が中心となって取り組みます。